

ひと月のアルバム

教育環境の充実に期待

10月28日、防災・減災教育及び震災復興に向けた相互協力に関する協定を、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター（千葉和義センター長）との間で締結しました。

千葉センター長の挨拶では「安平町子どもたちにより良い教育を提供していければ」と語ってくれました。



みんなで鉄道を知ろう！

5日、JR北海道が主催する出前講座「列車ごっこ」が追分小学校の1、2年生を対象に行われました。

この取り組みは、鉄道利用の促進や子ども頃から鉄道へ関心を持って貰おうと今年から始めたもの。講座では、町内での鉄道利用者数の話や鉄道が走るには、どういった仕事を持った人たちがいるのかなどを模擬で体験。切符の模擬販売などを通じて鉄道を学んだ一日となりました。



長年の活動に感謝状

6日、はやきた雪だるま郵便局の局長を務めた真保生紀さんが、北海道より感謝状の贈呈を受けました。

この表彰は、長年、ブラジル連邦共和国との友好親善に大きく寄与してきたことを賞したものの。今年の8月には、ブラジルの都市サンパウロで行われた北海道移民100周年記念式典に合わせ、町内で作成した雪だるまを届けるなど精力的な活動を続けられています。



創立50周年を祝して

7日、追分公民館で追分アサヒメロン組合創立50周年記念式典が行われ、式には生産者やその功績を祝おうと多くの方が参加しました。

町の特産品アサヒメロン。最初は3戸の農家で生産を開始され、半世紀という年月を経て現在は25戸の農家で生産。厳しい検査を経て流通するアサヒメロンは、高品質で多くの人に愛されています。組合とアサヒメロンの更なる発展を願うばかりです。



誰もが安心した生活を

19日、早来町民センターで地域ネットワーク会議が開催されました。この会議は、町民の誰もが住み慣れた地域で安心して生活を営んでいくにはどうしていくべきなのか、ということを行行政や住民、関係機関などと連携し理解を深めていくものです。今回は100名を超える方が参加し、他地域での取り組みに関する講演や地域での支え合い活動をテーマとしたグループワークなどが行われました。

